

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

特別展

よみがえる武士の魂

—鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—

今から約900年前、甲斐の国では「甲斐源氏」と呼ばれる武士勢力が活躍していました。

本展では、当時の政治・文化の中心地であった鎌倉や奥州平泉とのつながりを通して、甲斐源氏が育んだ文化と強さの秘密に迫ります。



国重要文化財 白磁四耳壺(平泉遺跡群(岩手県)
出土 平泉町教育委員会蔵)



白河市指定重要文化財 楯無鎧写
(鹿嶋神社蔵 白河市歴史民俗資料館保管)

開催期間／9月28日(水)～11月23日(水・祝)

観覧料／一般・大学生600円

※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151 FAX 055-240-0168

第18回ライトダウンやまなし

—星の郷に暮らそう—

「街の明かりを消して美しい星空を取り戻そう」と、開催してきた『ライトダウン甲府バレー』は、2014年より『ライトダウンやまなし』と名称を変更し、全県的な取り組みとして実施しています。

今年もプラネタリウム投影や星空コンサート、ライトダウンワークショップ「ガラス絵の具で星をつくろう」などを行います。

開催日時／11月5日(土)午後6時～9時(消灯時間:午後8時～9時)

参加料／無料

※10月15日(土)・16日(日)の午前11時～午後7時に、イベントとしてラザーウォーク甲斐双葉にて移動プラネタリウムや望遠鏡作り、ミニ工作などを実施します。(一部材料費は有料)



富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211

富士山レンジャー写真展

富士山レンジャーの活動紹介をはじめ、富士山に棲む生き物や、富士山が抱える問題、レンジャーが見た美しい景色などを展示しています。富士山レンジャーならではの視点で写した写真をぜひご覧ください。



開催期間／9月28日(水)～10月24日(月)

観覧料／一般420円 大学生210円

※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6203
FAX 0555-72-6183

富士山科学講座

富士山の自然、自然と人との関わりについての研究成果を、分かりやすく解説します。10月は「環境問題」11月は「富士山の保全」をテーマとして開催します。



開催日時／10月22日(土)、11月19日(土)

開催時間／午後1時30分～4時

参加料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

特別展 フランスの風景 樹をめぐる物語 —コローからモネ、マティスまで—

19世紀のフランスでは、産業化の進展に伴い失われていく自然に対する関心が高まり、風景画が人気を博しました。以降、樹木は背景の構成要素として、時には中心的な主題として画家たちに「想」を与え、さまざまに絵画を彩ってきました。

本展では、樹木をテーマに国内外の優れた作品約110点を展覧し、フランス絵画の変遷をたどります。

開催期間／10月22日(土)～12月11日(日)
観覧料／一般 1,000円 大学生 500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



シャルル＝フランソワ・ドビーニエ《ヴァルモンドワの下草》
1872年(カミーユ・ピサロ美術館蔵)
©Musée Camille Pissarro, Pontoise



クロード・モネ《ヴェトウイユの河岸からの眺め、ラヴァクール(夕暮れの効果)》1880年頃(個人蔵) ©Musée Camille Pissarro, Pontoise



モーリス・ドニ
《小さなブルターニュの女性たち、沼のほとり》
1892年頃(個人蔵)

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 ブドウとワイン

ブドウとワインは、山梨県が誇る代表的かつ歴史的な特産物です。江戸時代にはブドウが甲斐の特産物として知られていましたが、ワイン醸造は明治時代以降海外にも学び、全国に先駆けて近代化が進められました。

本展では、歴史・民俗・美術の各視点からの資料約150点を紹介し、山梨におけるブドウとワインにまつわる歴史と文化を振り返ります。

開催期間／10月8日(土)～11月28日(月)
観覧料／一般 500円 大学生 250円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



大日本物産図会 甲斐国葡萄培養園 1877年(山梨県立博物館蔵)

県立文学館

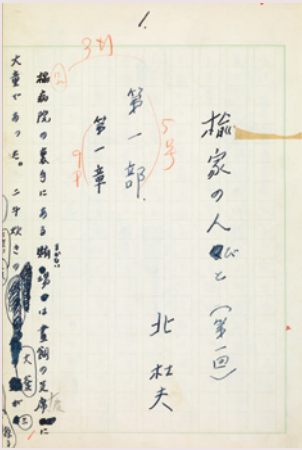
甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

企画展 北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです

自らの体験を軽妙に語った「どくどくマンボウ」シリーズや、長篇小説「榆家の人びと」などで知られる小説家北杜夫は、山梨県立精神病院に医師として勤務していた経験を「どくどくマンボウ医局記」に記しています。

本展では、現代文学に独自の足跡を残した北杜夫の魅力や、若き日の山梨との関わりに触れつつ、原稿、書簡、書画など約150点の資料で紹介します。

開催期間／～11月23日(水・祝)
観覧料／一般600円 大学生400円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



「榆家の人びと」原稿(世田谷文学館蔵)



北杜夫 軽井沢の別荘にて